

劇団NLT 第13回公演



住みごこちのよさは
サッシひとつでちがってきます



四季を通じて快適なリビングスペースをお求めなら、よいサッシをおえらびになることです。

三協アルミの住宅サッシ3Kは、高い水密性と気密性で、雨・ほこり・スモッグ・騒音をシャットアウト、ムダのない冷暖房ができます。強度にもすぐれ、風速60mの大型台風にも安心です。

三協アルミ

住宅サッシ
3K



Ⓔ JIS表示許可工場

Ⓕ KJA認定工場

三協アルミニウム工業株式会社

高岡・東京・大阪・名古屋・福岡・仙台・広島
札幌・新潟・高松・千葉・前橋・横浜・長野

笑える新劇——ラ・マンマ——喜劇2幕5場

母の意外なセックス論議

作——→アンドレ・ルッサン！
 訳——→前田右府郎！
 演出——→衣笠貞之助！
 照明——→浅沼 貢！
 効果——→吉田美能留！
 衣裳——→京都衣裳！
 装置——→衣笠貞之助！
 舞監——→森田俊二！
 出演者——→賀原夏子・柳沢紀男・川端真二・大神信・藤野幸子・奥野匡
 上田みゆき・真船道朗・津田亜矢子！

梗概——→

所はシチリア島のカタニア。
 今や、この島の青年男女の憧れの的は、アントニオ。首都ローマの某省に勤める。25才の秀才。おまけに独身、絶世の美男。ローマ中の女性から騒がれ、進んで彼に身をまかせると云う女性の数は門前に市をなすとか！
 “まさに20世紀カザノバ的行状記”
 その美男アントニオが今度故郷シチリアの地方行政官になって帰る早々一目惚れで結婚してしまった。
 仲むつまじすぎてあれではお嫁さんのバルバラの体もバラバラになってしまうのではないかと思う程。
 所が二年たったある日、意外や意外、バルバラが結婚前と同様いまだ生娘と云う事が知れる。
 始めは一笑にふしていた母ロザリアも嫁バルバラからその事実を聞きがくぜんとし、天国に居る亡夫の霊に誓う。「マニャーノ家の名譽はけがせません、私が望めば、アントニオは出来ます！今夜のうちにもバルバラは身も心もアントニオの妻になります！」
 母ロザリアは獅子奮迅の戦闘を開始。
 アントニオの弟アルドには、不能のアントニオになりすまして、夫の義務を遂行せよと。
 さて翌朝 母ロザリアは、そこに何を見たか。

4月7日 ~ 12日

昼 1時30分 開演

夜 6時 開演

新宿・紀伊國屋ホール

全席指定 1,000円

新宿 紀伊國屋ホール	7日 (火)	8日 (水)	9日 (木)	10日 (金)	11日 (土)	12日 (日)
昼 1時30分 開演	—	—	—	—	○	○
夜 6時 開演	○	○	○	○	○	○